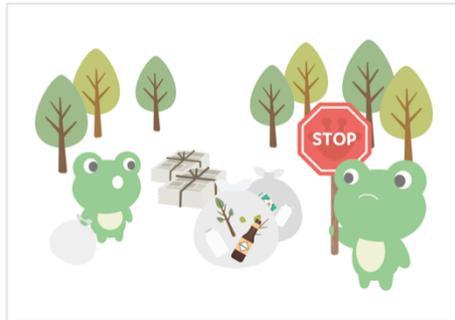


ワークショップ教材 『挑戦！ごみゼロ生活』

WS2：ごみゼロ生活に挑戦しよう①



Copyright © kaoeru+ project All Rights Reserved.

<スライドの位置づけ>

ワークショップを始める際の「表紙」としてのスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

任意の方法で場づくりをお願いします。また、冒頭は前回までの内容のおさらいスライドが続きます。あまり多くの時間を取ることはできないため、重点を置くスライドをいくつか決めてメリハリをつけながら進めるようにしてください。

今回のテーマ

環境

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

今回のテーマをおさらいするスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「今回は『環境』をテーマにやってるよね。みんなは環境について、どんな仕事について探究してるんだっけ？」などと問いかけて、思い出しの時間を取りましょう。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

今回のテーマを発表するスライドです。ここで、子どもたちに「“環境”をテーマにした仕事って、どんな仕事だろう？」と軽く考えさせます。

<ファシリテーションのコツ>

「何だと思う？」などと子どもたちに問いかけてみて、反応（の良さ）に応じて数名に当てさせたりしても良いでしょう。「何だろう？」という思考を子どもたちに持たせた上で「環境なのですが、次の仕事に挑戦してもらいます。」と話して、次のスライドに進みます。

「コンサルタント」という仕事

に挑戦します



Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

今回のテーマとなる「仕事」（＝コンサルタント）をおさらいするスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

次のスライドに問いかけがあるので、このスライドでは「コンサルタント」というキーワードをしっかりと思い出してもらえればOKです。テンポよく、次のスライドに進みましょう。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

今回のテーマとなる「仕事」を発表するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

知らないことを前提として、「コンサルタントって知ってる人～?」「コンサルタントってどんな仕事だと思う?」「この写真の人、何してるかな?」などと問いかけましょう。「知らない」が多いと思いますが、写真を見て予測して答えてくれる子もいると思います。子どもたちと対話をしながら、「コンサルタントはね...」と言って、次のスライドに進みましょう。

コンサルタントって どんな仕事だっけ？

コンサルタントにとって 大事なことは？

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

「コンサルタントとはどんな仕事か？ 大切なことは何か？」を改めて考えるスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「今回は『コンサルタント』の仕事に挑戦しているんだっけね！ コンサルタントって、どんな仕事をする人だったっけ？」などと問いかけて、具体的にどんな仕事をするのか、大切なことは何かを思い出しながら考えさせるようにファシリテーションしましょう。

コンサルタントの仕事とは 分析する ⇒ 提案する



Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

コンサルタントの仕事で大切なことをおさらいするスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

下記を参考に、「良い提案のためには、『分析』が必要不可欠」ということをしっかりとメッセージしましょう。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

コンサルタントの仕事を一言で解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

基本的には「コンサルタント」を知っている子は少ないので、簡単に言うとどんな仕事なのかを解説してください。たとえば、「誰かが困っていること似ついて調べて、『〇〇〇なので △△△したほうがいいですよ!』と提案する仕事だよ。」というイメージです。その上で、「いい提案をするためには、分析することが必要なんだけど、分析ってどうすることかな？」などと次のスライドにつながる問いかけをしていきましょう。スライドのイラストを使って、「この人、なんか図を指差してるよね！」などと触れながら進めても良いと思います。

特に大事なのは きちんと分析すること

**複雑な事柄を一つ一つの要素や成分に分け、
その構成などを明らかにする**
(三省堂「国語辞典」での『分析』の意味)

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

「分析すること」について、改めて解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

分析の概念は子どもにとっては難しいので、下記を参考に改めて解説しましょう。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

「分析すること」について解説するスライドです。

<伝えたいメッセージ>

「誰かに提案をするには（orコンサルタントの仕事には）、きちんと分析することが大切！」

「分析とは、複雑なことを1つ1つに分解して、分かりやすくすることだよ！」

<ファシリテーションのコツ>

上記のメッセージおよび解説を伝えた上で、「分析するの好きな人〜?」「最近、分析したものとかある?」などと徐々に対話を広げていきましょう。「提案するのって、人が思いつかないようなアイデアを出す力がすごく必要そうだけど、実はコツコツ『分析』をすることが良い提案につながるんだよ!」などと、分析することの重要性を伝えてください。具体例として、日常生活の例を挙げて話ができるとう効果的です。

身の回りから環境を良くしよう！



君の分析と提案にかかっている！

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

子どもたちを「環境改善活動」に誘い込むスライドです。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

子どもたちを「環境改善活動」に誘い込むスライドです。

<伝えたいメッセージ>

「環境について考えるときは、身の回りのことから取り組むことが大事！」

<ファシリテーションのコツ>

子どもたちのワクワク感を引き出すイメージで進行しましょう。「これからの地球は、みんな一人ひとりの分析と提案にかかっているからね！」と伝え、やる気を引き出してあげてください。

今回のテーマ 「ごみ」

ごみについて分析をして
ごみ量削減に取り組めます！

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

環境に関するテーマとして「ごみ」を改めて提示するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「前は、身の回りのごみについていろいろ考えたね！」などとコメントし、今回の内容へと進んでいきましょう。宿題については、次のスライド以降で扱うため、この場面では触れなくてOKです。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

今回のテーマである「環境」を「ごみ」へと絞り込んで、改めて発表するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「今回のテーマは『ごみ』です！」「みんなにはこれから、『ごみ』について分析をしてもらって、ごみ量削減に取り組んでもらいます！」と元気よく発表し、子どもたちを盛り上げましょう。



計測結果を比べよう

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

宿題で調べた「ごみの量を比べる」パートに入っていくためのスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「みんなには、家庭のごみの量を計測してもらいました!」「計測した人〜?」などと前回の宿題について触れ、「今日は、みんなに計測してもらった量をお互いに比べてみたいと思います。」などと解説しながら本編に入っていきます。

▼前回の宿題▼ 1週間分のごみ量を きちんと計測する

計測してみてどうだった？感想は？

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

前回の宿題を再掲し、計測してみたの感想を共有するためのスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

まずは、やってみての「率直な感想（＝大変だった、すごい量だった、いろいろと発見があった など）」を話し合ってもらいます。具体的な量の比較はこの後行うので、ここでは「感想」を自由に話してもらおうと良いでしょう。

お互いの家庭の 「ごみ量」を比べよう

わかりやすく比べる時に、役立つのは・・・？

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



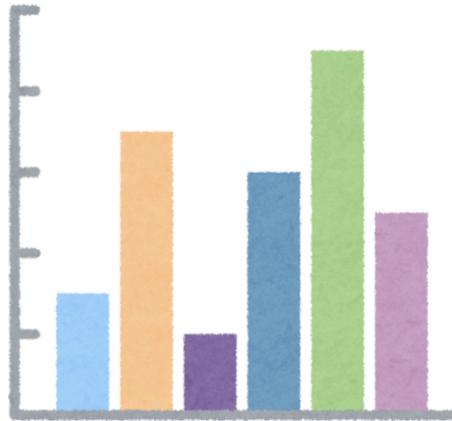
<スライドの位置づけ>

「お互いの家庭の『ごみ量』を比べる」ワークに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「どうやって比べたら、分かりやすいかな？」と問いかけましょう。「図みたいになってるのとか、見たことない？」などと、グラフを想起するような方向に徐々に目を向けさせていきましょう。

グラフ！



Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



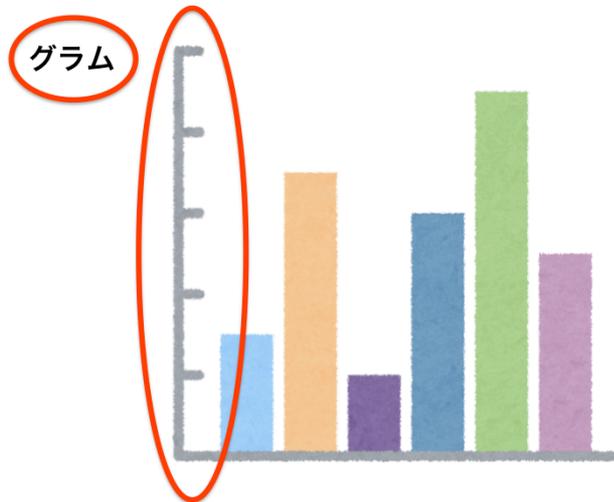
<スライドの位置づけ>

分かりやすく比べるための手段として「グラフ」を紹介するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「みんな、グラフってどこかで見たことある？ 何に書いてあった？」などと、グラフとの関わりを思い出してもらいましょう。「グラフって何？」などと敢えてオープンに問いかけて、子どもたちにグラフを一度説明してもらっても面白いです。書き方については、次のスライド以降で解説していきます。

グラフを書く時に大事なこと タテの軸の「単位」「目盛り」



Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

グラフを書くときのポイントを解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「横には、みんなそれぞれのデータを並べて書いていくんだけど、縦は何で比べるかによって変わります!」「大事なのは、『単位』と『目盛り』だよ!」と解説を進めていきます。

「たとえば、ごみの重さで比べるなら、単位は『グラム』になるよね!」などと進め、「ビンのごみだったら、単位は何にすると比べやすいかな?」などと問いかけ、子どもたち考えさせるのも理解を深める上で効果的です。

家庭の「ごみ量」を グラフにしよう

グループ内で、みんなのデータを比べよう
(カテゴリごとに分担してグラフを書こう)

※理由はあとで

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

グラフ化ワークを始めるスライドです。

<進め方>

- (1) グループで集まって調べたデータ (= 『ごみ計測シート (1週間分の家庭ごみ) 』) を全員分机に出す。
- (2) できるだけ全員が計測してきた「ごみ (カテゴリ)」を、グループの人数分選ぶ。
- (3) 誰がどのカテゴリについてグラフ化するかを話し合っ決めて。
- (4) 各自が自分の担当するカテゴリについて、責任を持ってデータをグラフにまとめる。

<ファシリテーションのコツ>

このスライドでは、「みんなのデータを持ち寄って、カテゴリごとにまとめる」ということがしっかりと伝わればOKです。上記の進め方については、次のスライド以降のシートを見せながら解説を進めていきます。

ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）

計測期間

～

分類	中身：どんなものがあつた？	測り方	計測値①	計測値②
①生ごみ		① 袋の大きさ・数と 詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ 袋の数 個分	グラム
②燃えるごみ		① 袋の大きさ・数と 詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ リットル袋 袋の数 個分	グラム
③燃えないごみ		個数	個	個
④資源ごみ	雑紙（新聞・雑誌・広告等）	積んだ時の高さ	センチ	[黒塗り]
	ダンボール	個数	個	
	ペットボトル	本数	本	
	缶	本数	本	
	瓶	本数	本	
	紙パック（牛乳等）	個数	個	
	食品トレー	個数	個	
プラごみ（プラマークあり）	個数	個	個	

名前

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

グラフにまとめる際の「カテゴリ」を解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

シートにあるキーワードを指差しながら、グループワークの進め方を解説します。

ごみ分析シート①（1週間分の家庭ごみ）

計測期間

～

ごみ量 比較グラフ

単位

↑

比べるごみ

なぜ多い？ なぜ少ない？
理由を考えてみよう！

名前

名前

名前

名前

名前

名前

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

『ごみ分析シート①（1週間分の家庭ごみ）』の書き方を解説するシートです。

<ファシリテーションのコツ>

各自が担当のカテゴリをまとめる際は、左側の欄のみを使用します。初めに、「比べるごみ」を右上の欄に記入するように指示します。次に、そのごみをどの「単位」で比べるのかを左上の欄に記入するように指示します。次に、目盛りの取り方のコツを解説します。ここは算数が苦手な人は難しく感じる部分なので、全体への解説で満足せず、個々人のフォローで理解を促進するよう意識して動きましょう。グラフの軸が完成したら、各自の計測データを棒グラフに表現させていってください。右側の欄は、次のグループワークで使用する欄です。

<配布物>

- ・『ごみ分析シート①（1週間分の家庭ごみ）』 : 1枚/人

グラフが描けたら グラフの違いを 考えてみよう

なぜこのごみが多い？少ない？
自分たちの家族の生活を想像してみよう

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

作成した『ごみ分析シート①（1週間分の家庭ごみ）』をグループで共有し、量の違いを考察する場面のスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

各自が作成したシートを持ち寄って、「違いのウラにある理由」を考察してもらいます。
「『なんで多いんだろう？』『なんで少ないんだろう？』と考えたり、お互いに質問してみたりして、理由を探っていこう！」などと、少し謎解きのような雰囲気をつくると、楽しく進められると思います。尚、考察は次のスライドの以降のステップに沿って進めていきます。

▼グラフ分析 STEP1▼

1枚1枚観てみよう

気になるカテゴリのグラフを選ぼう

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

ごみ量の違いを分析するSTEP1を行うスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「気になるものを1つ選ぼう!」と伝えつつ、「家庭によって差があるごみを選ぶと面白いかもね!」など選ぶ軸を提示してあげるのもアリですが、まずは興味のある「カテゴリ」で選んでもらえば良いでしょう。各グループが選び終わったら、次のスライドに進みます。

▼グラフ分析 STEP2▼

グラフの特徴を 見つけよう

●●さんの家が異常に少ない！
▲▲さんと■■さんの家が多め！
すべての家庭でたくさん出ている！

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

ごみ量の違いを分析するSTEP2を行うスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「グラフを眺めると、どんな特徴があるかな？」 「特徴を見つけるには、共通点か相違点（差があるところ）を探すように意識するといいいよ！」などと解説し、議論が進むよう臨機応変にファシリテーションしましょう。

▼グラフ分析 STEP3▼

特徴の理由を考えよう

特徴的なデータだった人に
「なぜ？」と問いかけよう

書記の人を決めてシートにメモしよう

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

ごみ量の違いを分析するSTEP3を行うスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

理由を考えながら、シートの右側の欄に出た意見をメモするように指示してください。多い理由もあれば、少ない理由もあるので、両面に目を向けながら「お互いに質問し合う」ことを重視するように伝えましょう。できるだけ、ここでいろいろな発見ができたほうが、以降の流れが効果的に進むので、気づきをたくさん拾い上げることを心がけてファシリテーションするようにしてください。

ビール好きのお父さんがいるから 「カン」と「ビン」のごみが多い？



Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

特徴の理由を例示するスライドの1枚目です。

<ファシリテーションのコツ>

このスライドを最初から出してしまうと、逆に引っ張られてしまうので、全体の様子を見て議論が停滞してきた頃合いを見計らって、臨機応変に提示するようにしましょう。次のスライドについても同様です。

自分は嫌いなものが多いのでよく食べ残しをするから「生ごみ」が多い？



Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

特徴の理由を例示するスライドの2枚目です。

「データ」をもとに なぜ？を考えるのが 「分析」

お互いに「なぜ？」を何度もぶつけて
いろいろと深めて考えるのが大事

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

「分析」についてのまとめスライドです。

<伝えたいメッセージ>

「なぜ？をぶつけあっていくと、いろいろな発見がしやすくなって分析が深まるよ！」

<ファシリテーションのコツ>

上記のメッセージを、実際に議論されたことを引き合いに出しながら伝えてください。

中間発表

一番特徴的だった「グラフ」を選んで
「分析結果」をみんなに発表しよう

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

分析した内容を全体で共有・発表する場面のスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「発表する人は、①何が特徴的で、②そのウラにはどんな理由があると分析したか、を発表しましょう。」 「聞いている人は、それ以外にもこんな理由がありそうだ、と予想したりしながら発表を聞こう」などと、それぞれに意識するポイントを与えてあげてから発表に入ると、場が活性化しやすいと思います。

ちなみに

生ごみゼロだった人 いるかな？

なぜゼロだったか教えて！

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

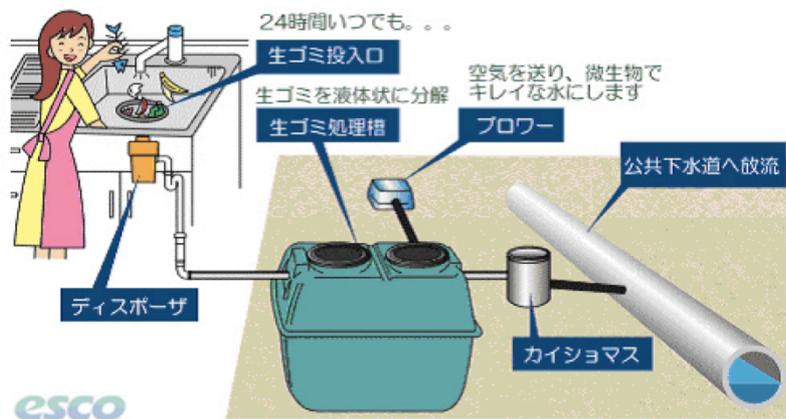
ディスポージャーについて解説するための振りのスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

特にいなければ、テンポよく次のスライドに進んでしまいましょう。もしあれば、子どもたちに理由を教えてもらってください。

ディスポーザー

生ごみをリサイクルする仕組み



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.

出典：株式会社日本エスコHP



<スライドの位置づけ>

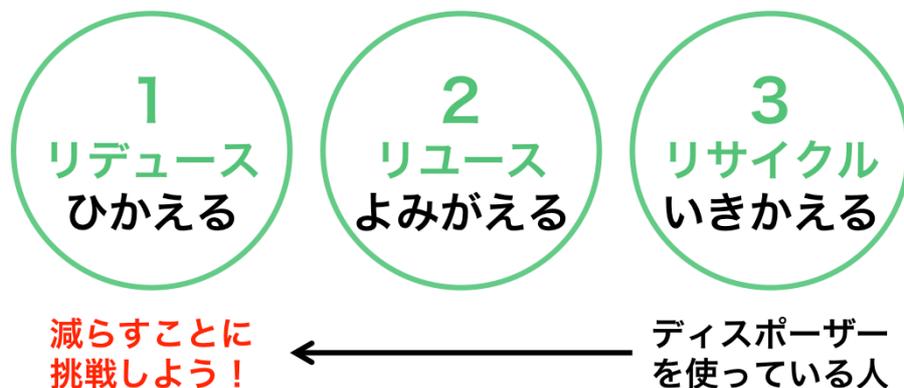
ディスポーザーとその構造について解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

詳細な構造の話よりも、「ディスポーザーを使うとどうなるのか？ 何の意味があるのか？」を念頭に起きながら進めましょう。これを子どもたちに問いかけてみても良いと思います。

ごみを減らす3つのやり方

優先順位は、一番ラクにできる「リデュース」から



<スライドの位置づけ>

ごみを減らす3つのやり方を解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

まずはスライドの内容を解説します。その上で、自宅にデスポーザーがある人については、デスポーザーに入れる前のごみの量を減らすことに挑戦するように伝えましょう。

PART2

ごみゼロに挑戦しよう

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

「ごみゼロ アイデアを考える」パートに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「家庭のごみを分析してもらったので、いよいよゴミゼロ生活の準備をしていこう！」とメインの取り組みに入っていく雰囲気を進めていきます。

ミッション

ごみゼロ生活に挑戦！

どれだけごみを減らせるだろうか？

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲
ミッションをおさらいするスライドです。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>
これからの期間のミッションを発表するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>
「難しそうだけど、面白そう！」という雰囲気をうまくつくれるよう心がけて発表しましょう。「この教室じゃなくて、みんなの普段の生活の中で挑戦してもらいます！」と位置づけを伝えつつ、挑戦意欲をうまく引き出していきましょう。



驚異のごみゼロ生活



あなたひとりではじめられる、
ささやかで
楽しい革命です



家族4人、
1年間のごみは
たったこれだけ!

anonymus.it



世界10ヵ国
以上で翻訳され
大反響!

ジョンソンさんの家は
家族4人で1年間のごみが
たったこれだけ

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.

参考：ベア・ジョンソン著『ゼロ・ウェイスト・ホーム』



<スライドの位置づけ> 再掲

「ごみゼロ生活」の実践について振り返るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

改めてこの事例に触れ、高い目標を見せることで今後の取り組みの挑戦意欲を煽ります。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

「ごみゼロ生活」を実践している人（と本）を紹介するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

前パートで触れた「1日1人の平均ごみ量=約1kg」ということを引き合いに出しながら、「1年間でこれだけって、驚きだよな！」と子どもたちと驚きを共有しながら進めると良いでしょう。その上で、「でも、実際にやっている人がいるんだから、みんなも挑戦できるはず！」と盛り上げていきましょう。

<参考情報> 『ゼロ・ウェイスト・ホーム』

カリフォルニア在住のフランス人女性ベン・ジョンソン氏による、シンプルでモノを持たない暮らしの実践を紹介した書籍。「台所と買い物」「仕事部屋」「子育てと学校」「外食・旅行」など生活のシーンごとに紹介される実践的なアイデアには、さまざまな角度から暮らしを変えていくヒントが散りばめられている。「リフューズ（断る）」「リデュース（減らす）」「リユース（繰り返し使う）」「リサイクル（資源化する）」「ロット（堆肥化する）」とい

資源ごみと燃えるごみ

まずはこの2つを減らしてみよう

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

最初の取り組み対象を発表するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「今回の目標はこれです！」と発表し、この2つにフォーカスすることを伝えます。



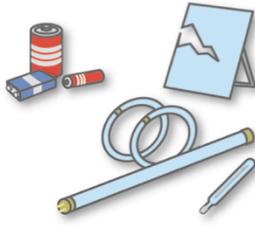
生ごみ



資源ごみ



燃えないごみ



燃えるごみ

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

今回の目標である「資源ごみ」と「燃えるごみ」について、内容を解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「資源ごみって、どんなものがあるかな?」「燃えるごみって、どんなものがあるかな?」と具体例を挙げてもらうようにファシリテーションします。具体的に対象となるごみをイメージさせておくことで、次のアイデア出しがやりやすくなります。

ごみゼロ アイデア を考えよう

量が多くて減らしたいごみを選ぼう

▼ポイント▼
「ラクに」できるか
「楽しく」できるか

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

「ごみゼロ アイデアを考える」ワークに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

資源ごみ・燃えるごみという単位では、ゴミを減らすアイデアを考えるのが難しいので、「量が多くて減らしたいごみ」を各自選んでからワークに入るようにしてください。減らしたいごみが同じあるいは似ている人がいたら、一緒にアイデア出しをするような進め方をしても良いでしょう。

まずはたくさん アイデアの種を出そう

バカげたアイデア、大歓迎！

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

アイデア出しのポイントを解説するスライドです。

<伝えたいメッセージ>

「アイデアを出すときに一番大事なことは、思いついたアイデアを潰さないこと！」

<ファシリテーションのコツ>

自信のないアイデアは、思いついても「表に出しづらい」という心情が働くものです。そのため、「本当に何でもいいんだ！」という雰囲気づくりはとても重要です。（雰囲気を見て）講師のほうから「本当にバカバカしいアイデア（の例）」を出してあげても良いでしょう。

（※次のスライドにも例示あり）

<配布物>

- ・サインペン : 1本/人
- ・付箋 : 1束/島

新聞で紙の服を
作って着る

ごみ箱自体を
なくす

お父さんは
じゃんけんに
勝たないとお酒
を飲めない

「広告お断り」
と表札に書く

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

ワークの進め方と具体例を提示するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

スライドにある具体例を面白そうに読み上げていきましょう。アイデア出しの障壁を下げる
ことが大切です。

いいアイデアを選んで 深めよう

実際に挑戦したい作戦をシートに書こう！

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

「思いついたアイデアを深める」ワークに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

スライドを読み上げる程度で次のスライドに進み、進め方の解説にテンポよく移っていきましょう。

ごみゼロ アイデアシート		
作戦名 ビール・ノム・ナー	減らすごみ ビン	減らす量 5本 → 1本
作戦の内容（絵と文章で）  <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんはジャンケンで勝たないとお酒を飲めないというルールを課す ・1日1回しか勝負できない ・ジャンケンの掛け声は「ビール・ノム・ナー」 		作戦成功のためのコツ <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんを味方につけること ・お父さんと楽しく遊ぶこと
		作戦の邪魔になるもの <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんが外で飲んで、外でゴミを出すかもしれない
名前 _____		
<small>Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.</small> 		

<スライドの位置づけ>

『ごみゼロ アイデアシート』の書き方を解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

まずは、上段の3つの欄の項目を説明した上で、例として書かれた内容を読み上げて行きます。次に、「作戦の内容」欄に触れ、例として書かれた内容を読んで行きます。最後に右側の欄の解説に移っていくこととなりますが、この2つの欄は次のスライドを行き来しながら解説すると分かりやすいと思います。

<配布物>

- ・『ごみゼロ アイデアシート』 : 1枚/人

▼作戦成功のコツとは？▼
アイデアを成功に導くための工夫！
できるだけ具体的に考えよう。

▼作戦の邪魔になるものとは？▼
アイデアを実践する時に難しいポイントや
失敗してしまう可能性があること！
事前に把握して対策しよう！

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

『ごみゼロ アイデアシート』の右側の記入欄について解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

基本的にはスライドに記載されている解説をしっかりとしましょう。前スライドと行き来しながら、どの欄のことかを指し示しながら解説すると分かりやすいと思います。

ごみゼロ アイデアシート		
作戦名	減らすごみ	減らす量
作戦の内容（絵と文章で）	作戦成功のためのコツ	
	作戦の邪魔になるもの	
名前 _____		
<small>Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.</small>		
		

<スライドの位置づけ>

『ごみゼロ アイデアシート』を掲示するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

印刷用がメインで、このスライドを使って何かを解説することはありません。

▼今回の宿題▼ 1週間分のごみ量を計測 + ごみゼロ生活に挑戦！

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

今回の宿題を解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

前回の宿題と同様に、今回も「1週間分のごみ量を計測」してもらいます。それに加えて、先ほどアイデアを考えた「ごみゼロ生活」を実践してもらいます。取り組む事柄が増えるため、一度集中して聞くように注目を集めて説明するようにしてください。同時に、「ごみゼロ生活」の後押しをする（送り出す）ようなイメージでファシリテーションするように心がけましょう。

ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）		計測期間 _____ ~ _____		
分類	中身：どんなものがあつた？	測り方	計測値①	計測値②
①生ごみ		① 袋の大きさ・数と詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ 袋の数 個分	グラム
②燃えるごみ		① 袋の大きさ・数と詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ リットル袋 袋の数 個分	グラム
③燃えないごみ		個数	個	個
④資源ごみ	雑紙（新聞・雑誌・広告等）	積んだ時の高さ	センチ	[黒塗り]
	ダンボール	個数	個	
	ペットボトル	本数	本	
	缶	本数	本	
	瓶	本数	本	
	紙パック（牛乳等）	個数	個	
	食品トレー	個数	個	
ブラごみ（プラマークあり）	個数	個	個	
名前 _____				

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

『ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）』を改めて解説するスライドです。

<配布物>

- ・ 『ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）』 : 1枚/人

今日のふりかえり

「学んだこと（＝発見・気づき）」
「今後へ活かしたいこと」を
ふりかえりシートに書こう

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

「ふりかえり」セッションへの導入スライドです。

<伝えたいメッセージ>

「楽しんだ後は、どんなことを発見したか、どんなことに気づいたかをちゃんと振り返ることが大切！」

「ふりかえりをすると、今までできなかったことがどんどんできるようになっていくよ！」

<ファシリテーションのコツ>

上記のメッセージをシンプルに伝え、ふりかえりの方法は次のスライドを使って解説しましょう。

環境	1ヶ月の目標（環境ワークショップが終わった時に達成していたこと）		名前
毎週のふりかえり			
月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）	今後へ何を活かしたいか？	
月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）	今後へ何を活かしたいか？	
月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）	今後へ何を活かしたいか？	
月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）	目標はどの程度達成できたか？	
Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.			 カエル+ ENERGY PROJECT

<スライドの位置づけ> 再掲

『ふりかえりシート』の書き方を解説するスライドです。

<進め方>

- (1) 前回配布された『ふりかえりシート』を取り出す。
- (2) (まだ書けていない人は) 「環境ワークショップが終わった時に達成していきたいこと」を書く。
- (3) “毎回のふりかえり”の2段目に今日の日付を書いて、その横に「学んだこと（＝発見・気づき）」と「今後に活かしたいこと」を書く。
- (4) 大切に保管する。（※シリーズを通して、このシートに書き足していく。）

<ファシリテーションのコツ>

シートを忘れていたり失くしたりした子どもがいたら、『ふりかえりシート』を配布します。
上記の進め方をしっかりと指示しましょう。筆が進んでいない子どもがいたら、「○○したら、うまくいったじゃん！」などと助け舟を出してあげましょう。

【ポイント】

知識だけで終わらず行動してみよう

事実やデータをもとに
自分なりの意見とアイデアを考えよう

Copyright © kaoru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

最後のまとめのスライドです。

<伝えたいメッセージ>

「行動することが大切！」

「事実やデータをもとにして、自分なりの意見やアイデアを考えよう！」

<ファシリテーションのコツ>

上記のメッセージを強く伝え、次回へのポジティブな熱量（楽しい雰囲気）を保ってワークショップを終了していきましょう。最後に、改めて宿題について発破をかけても良いと思います。